

<p>【内容】</p>	<p>第一種電気工事士は最大電力500キロワット未満の自家用電気工作物の電気工事と一般用電気工作物の電気工事に従事するために必要な資格で、取得するには筆記試験と技能試験に合格する必要があります。 この講習では、筆記試験で出題される次の内容について学び、筆記試験の合格を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電気に関する基礎理論 ○配電理論及び配線設計 ○電気応用 ○電気機器、蓄電池、配線器具、電気工事用の材料及び工具並びに受電設備 ○電気工事の施工方法 ○自家用電気工作物の検査方法 ○配線図 ○発電設備、送電施設及び変電施設の基礎的な構造及び特性 ○一般用電気工作物及び自家用電気工作物の保安に関する法令 <p>テキスト:「平成29年版 第一種電気工事士筆記試験模範解答集」 電気書院 電話(03)5259-9160 平成29年5月30日刊行予定 ISBN 978-4-485-20752-9</p>
<p>【対象者】</p>	<p>第一種電気工事士試験(筆記)の受験を予定されている方</p>
<p>【定員】</p>	<p>15名</p>
<p>【実施日時】</p>	<p>8/6(日),11(祝),9/3(日),10(日),16(土),17(日)【祝・土・日曜開催】</p>
<p>【受講料】</p>	<p>6,000円要テキスト</p>

応募締切
7月3日(月)

問題2. 配線図1 (図解表5, 配点は1問当たり2点)
 図は、三相誘起電動機を、押しボタン操作により起動させ、タイマの定時動作で停止させる制御回路である。この図の欠陥で示す6箇所に該当する各問には、4通りの答え(ア、イ、ロ、ハ、ニ)が書かれている。それぞれの違いは、答えを1つ選ぶしかない。
 (注) 図において、問いに直接関係のない部分等は、省略又は簡略化してある。

